

第1回ふれあい自然観察会

コアジサシ営巣地と浜辺の生き物

日 時：2010年6月12日 晴れ

場 所：検見川・稲毛の浜

参加者：31名（大人21名、子ども10名）

千葉市環境保全推進課水環境・自然係：長谷川 和男係長、島 美倫係員

指導員：谷 奥村 木下（順） 武田 田島 成田（篤） 盛一 前田



マメコブシガニ

奥村 昭（千葉市）

今の時期ツバメの子が巣立ち練習飛行を始めています。

シジュウカラの子も巣を離れ木立の根元を歩いています。これまで、4度名札付けをしましたが、実際観察会をするのは2度目です。やっと一人立ちするようなものです。

参加して頂いた方がコアジサシに興味を持ち、稲毛海岸へまた来てもらうためにを主眼にします。下見に参加し、ヨットハーバー屋上からスカイツリーが見えることを知りました。また埋め立て境界浅間神社前の国道14号線の位置が大体分りました。資料作りは文字を使わず、全て写真を使います。そこで13枚のA4用紙に2つの要素の写真を貼り付け作ります。例えばコアジサシ5年前検見川浜営巣地で、孵った雛の写真と昨年お盆の日に稲毛海岸海水浴場遊泳水域表示ブイに止まっている写真。マテガイの写真に、バケツに入った塩と熊手。ツメタガイと砂茶碗など。

4月のカタクリの観察会にも4月に見られない、花の写真・ホタルの写真を用意し、カワニナの話もしています。そのせいもあったかどうか6月12日ホタル観察の来場者は500人近い数。

今日の干潮時間10時半ごろ丁度検見川浜です。マテガイの潮干狩りは不発。その代わり、参加の方がマメコブシガニの産卵の様子を見つけました。検見川浜から稲毛海岸に着いた時に、海岸縁りが一面ピンクに染まっていました。新月の夜に産卵（卵の中で育った幼生）と聞いていましたが日中でも見られるのでしょうか？

資料のおかげでスムースです。ヨットハーバー屋上から、昔の海岸線、ヨットハーバーや、稲毛海岸の様子が見られましたが、晴れなのに視界が悪くスカイツリーは見られません。潜れない冬のお客さんオナガガモとヒドリガモの紹介、旅好きミュビシギの足のフラグ、足輪の紹介もちろん。

海岸植物はハマヒルガオ、今年検見川浜初見参のハマボウフウ、オカヒジキ、ツルナ、ハマダイコン、ハマツメクサは白い花。ピンクが入ると名前が変わります。参加された中央区の方の話だと、蘇我のビオトープにコアジサシが来ていないとのこと。こういう写真が今年は撮れないかも知れません。

今年もホームページにまとめています。ミュビシギの足のフラッグは

<http://mihama.ifdef.jp/miyubisigi>

<http://yamayuri8.web.fc2.com/koazisasi>

<http://yamayuri8.web.fc2.com/hureai>



遊泳標識のブイに乗るコアジサシ



マテガイ獲りの塩とスコップ